

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
 コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 050-3508-5835

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,677	6.2	675	5.8	996	3.4	835	17.2
2022年3月期第3四半期	5,346	16.6	716	134.7	964	96.6	712	89.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,115百万円 (85.0%) 2022年3月期第3四半期 603百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	65.46	
2022年3月期第3四半期	55.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	15,691	13,960	88.5	1,089.54
2022年3月期	15,313	13,186	85.6	1,027.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,885百万円 2022年3月期 13,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	5.8	1,040	10.1	1,430	3.1	1,020	3.5	79.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,934,946 株	2022年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,190,268 株	2022年3月期	1,170,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	12,761,405 株	2022年3月期3Q	12,764,678 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、7月から8月にかけて急拡大した新型コロナウイルス感染症第7波により過去最大級の感染者数・死亡者数を記録したものの、特段の行動制限が課されなかったこともあり、個人消費を中心に回復傾向で推移しました。9月に入り感染症第7波は急激に収束し、その後は感染症第8波により10月から再び増加傾向が続いているものの、感染者数は爆発的には増えず、微増・微減を繰り返し推移しており、10月からは政府による観光需要喚起策である全国旅行支援の開始が消費の回復を後押しするなど、経済活動はさらに正常化に向けた動きが見られました。企業部門においては、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安の影響により仕入れコストは大幅に増加した一方、半導体などの供給制約の緩和を背景に生産活動が回復したことで、製造業を中心に高水準の収益が実現しました。今後につきましては、新たな変異株の発生による新型コロナウイルス感染症急拡大への懸念はあるものの、政府は経済活動の正常化に向けた取り組みを優先すると見込まれ、物価高騰・賃上げ対策やエネルギー価格の抑制策など、各種経済対策によりさらなる国内経済の活性化・景気回復が期待されます。海外経済においては、米欧経済は需要と供給の両面でコロナ危機から回復傾向をたどってきましたが、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギーショックはインフレ圧力に拍車をかけ、家計の購買力を奪い、景気の下振れ要因となりました。また中国経済はゼロコロナ政策による活動規制の厳格化により個人消費は下押しされ大きく低迷しました。今後につきましては、ウクライナ問題は長期化の様相を見せており、地政学的なリスクがもたらす経済損失により世界経済は大幅に減速し、さらには資源、材料価格の上昇が加速することも予想されるなど、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分注意を払いつつ、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、工場設備市場において、医療機関・医薬品工場向けマグネットミキサーの好調などにより、販売を伸ばしました。海外顧客向け販売においては、中国向けの販売は前期を下回る売上だったものの、その他の北米地域やアセアン地域向けなどの販売が好調に推移した結果、販売活動全体としては前期を上回る結果となりました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない状況の中、感染予防対策の徹底とより一層の注意を払った行動を意識し、社内の新型コロナウイルス感染症による操業の停止を最小限に抑制します。また品質管理面においては、市場クレーム再発ゼロ、重要品質改善テーマ再発ゼロなど再発防止を徹底し、製品開発においては、開発遅れを徹底的に防止します。販売活動においては、ターゲットを適切に選定しアクションプランとして着実に進捗を図ります。そして生産活動においては一層の原価低減策を立案・実行し、また、仕入原価上昇や物流の遅延・途絶のリスクに対処する為、二社購買や地政学的なリスクに配慮した納入先の選定を事業継続計画とも絡ませて検討してまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は56億77百万円（前年同期比 6.2%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底したものの、材料価格の上昇による生産コストの増加などにより営業利益は6億75百万円（前年同期比 5.8%減）となりました。経常利益は持分法による投資利益の増加などにより9億96百万円（前年同期比 3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億35百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は156億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億77百万円増加しました。主に現金及び預金が7億90百万円減少した一方で、有形固定資産が2億33百万円増加したこと、投資有価証券が6億16百万円増加したことなどによります。

負債は17億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億96百万円減少しました。主に未払法人税等が2億68百万円減少したこと、役員退職慰労引当金が1億90百万円減少したことなどによります。

純資産は139億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億73百万円増加しました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益を8億35百万円計上したことにより利益剰余金が5億16百万円増加したことや為替換算調整勘定が2億78百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月16日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響につきましては、今後の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,884,201	2,093,431
受取手形及び売掛金	1,850,718	1,685,215
電子記録債権	813,672	931,020
商品及び製品	947,080	1,026,259
仕掛品	692,880	789,369
原材料及び貯蔵品	841,266	976,215
その他	209,284	382,904
貸倒引当金	△13,226	△13,968
流動資産合計	8,225,877	7,870,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,481,446	3,458,972
減価償却累計額	△1,975,517	△1,821,461
建物及び構築物 (純額)	1,505,929	1,637,511
機械装置及び運搬具	3,821,213	4,047,082
減価償却累計額	△2,607,965	△2,852,554
機械装置及び運搬具 (純額)	1,213,247	1,194,527
土地	1,160,390	1,249,492
リース資産	127,854	126,747
減価償却累計額	△62,403	△75,875
リース資産 (純額)	65,450	50,872
建設仮勘定	94,958	154,224
その他	1,162,010	1,149,025
減価償却累計額	△1,077,673	△1,078,273
その他 (純額)	84,336	70,752
有形固定資産合計	4,124,313	4,357,379
無形固定資産	46,118	46,580
投資その他の資産		
投資有価証券	2,459,856	3,075,944
その他	496,092	383,036
貸倒引当金	△39,090	△42,382
投資その他の資産合計	2,916,858	3,416,599
固定資産合計	7,087,290	7,820,559
資産合計	15,313,167	15,691,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	622,796	667,922
未払法人税等	270,731	2,229
賞与引当金	159,589	87,982
その他	265,049	358,564
流動負債合計	1,318,165	1,116,698
固定負債		
リース債務	47,432	36,087
役員退職慰労引当金	315,671	124,987
退職給付に係る負債	407,172	404,017
資産除去債務	38,114	39,476
その他	-	9,219
固定負債合計	808,391	613,788
負債合計	2,126,556	1,730,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	8,440,367	8,956,654
自己株式	△454,777	△467,677
株主資本合計	12,552,170	13,055,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,568	29,563
為替換算調整勘定	522,345	800,684
その他の包括利益累計額合計	558,913	830,248
非支配株主持分	75,526	74,712
純資産合計	13,186,611	13,960,518
負債純資産合計	15,313,167	15,691,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,346,046	5,677,674
売上原価	3,092,482	3,300,479
売上総利益	2,253,563	2,377,195
販売費及び一般管理費	1,536,796	1,701,757
営業利益	716,766	675,437
営業外収益		
受取利息	22,911	43,990
受取配当金	9,030	11,325
持分法による投資利益	146,079	219,133
為替差益	54,340	48,605
その他	25,273	10,583
営業外収益合計	257,636	333,638
営業外費用		
支払利息	1,319	1,032
減価償却費	-	2,226
設備撤去費用	1,332	4,283
その他	7,736	4,682
営業外費用合計	10,389	12,225
経常利益	964,014	996,850
特別利益		
投資有価証券売却益	9,535	-
固定資産売却益	-	143,630
特別利益	9,535	143,630
特別損失		
投資有価証券償還損	-	4,851
特別損失	-	4,851
税金等調整前四半期純利益	973,549	1,135,630
法人税、住民税及び事業税	209,877	138,758
法人税等調整額	40,092	152,282
法人税等合計	249,969	291,040
四半期純利益	723,580	844,589
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,939	9,185
親会社株主に帰属する四半期純利益	712,640	835,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	723,580	844,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,481	△7,004
為替換算調整勘定	△122,503	140,731
持分法適用会社に対する持分相当額	31,594	137,607
その他の包括利益合計	△120,390	271,334
四半期包括利益	603,189	1,115,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	592,249	1,106,738
非支配株主に係る四半期包括利益	10,939	9,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる時価の算定方法に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	4,984,466	361,579	5,346,046
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,984,466	361,579	5,346,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	57,025	1,341,349	1,398,374
計	5,041,492	1,702,928	6,744,420
セグメント利益	532,070	176,586	708,656

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	708,656
棚卸資産の調整額	8,110
四半期連結損益計算書の営業利益	716,766

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,162,231	515,442	5,677,674
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,162,231	515,442	5,677,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	77,547	1,244,045	1,321,592
計	5,239,778	1,759,488	6,999,266
セグメント利益	535,513	128,690	664,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額
の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	664,203
棚卸資産の調整額	11,233
四半期連結損益計算書の営業利益	675,437